

JIS

球 面 滑 り 軸 受—用 語

JIS B 0161 : 1999

(ISO 6811 : 1998)

(2005 確認)

平成 11 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

なお、このJIS B 0161には、次に示す附属書がある。

附属書A (参考) 参考文献

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 11.1.20

官 報 公 示：平成 11.1.20

原案作成協力者：社団法人 日本ベアリング工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 機械要素部会 (部会長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課 (☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

球面滑り軸受—用語

B 0161 : 1999

Spherical plain bearings—Vocabulary

(ISO 6811 : 1998)

序文 この規格は、1998年に発行されたISO 6811, Spherical plain bearings—Vocabularyを翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

1. 適用範囲 この規格は、球面滑り軸受（以下、軸受という。）に関する用語及び定義について規定する。

2. 用語の構成

2.1 用語の構成 用語の構成は、次による。

- a) 用語・定義
- b) 図
- c) 索引

2.2 用語及び定義の構成 用語及び定義の構成は、大分類及び中分類に区分し、

大分類は、二つの数字01, 02などを用いる。

中分類は、四つの数字を用いる。初めの二つの数字は、大分類を表す。用語・定義は、初めの四つの数字が中分類を表す六つの数字からなる番号を付ける。

定義欄の太字で示した用語は、この規格で規定した用語であり、一つの定義欄の中で、最初に出てきたときだけ太字で示している。

2.3 図の構成 図は、対応する用語の番号を示している。

なお、図は、軸受及び部品の一例であり、単純化した図が多い。

2.4 索引の構成 索引は、用語索引と英語索引とからなり、用語索引は五十音順に、英語索引はアルファベット順に配列している。索引は、3.で定義するすべての用語及びそれらの番号を記載している。

3. 用語及び定義 用語及び定義は、次による。

なお、対応英語を参考として示す。

01 軸受 (bearings) 機械装置の他の部品に対して、可動部品を位置決めし、支持又は案内する機械要素 (ISO 4378-1参照)。

01.01 滑り軸受 (plain bearings) 滑り摩擦だけが生じる軸受 (ISO 4378-1参照)。

番号	用語	定義	図の番号	対応英語 (参考)
01.01.01	球面滑り軸受	主として揺動運動、傾斜運動及び低速回転運動のために設計した滑り接触面が球面である滑り軸受。	1～6	spherical plain bearing
01.01.02	ラジアル球面滑り軸受	主にラジアル荷重を支持する球面滑り軸受。	1～3, 6	radial spherical plain bearing